

タイトル (活動概要)	78 響くよ心 ～トーンチャイムで友だちと～	アプローチ (関連する力)		「自分づくり」② ③ 「仲間づくり」⑬	
タイミング (実施時期)	通年	活動場所	音楽室	所要時間	45分
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	音楽
活動のねらい	<p><背景>群れ合い体験の不足から、集団の中で自分を表現することに抵抗を感じる子どもがいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさを認め、安心して音を出すと同時に、友だちの音を聴いて重なり合ったり響き合ったりすることの心地よさを知る ・自分の音を聴いてもらうことで学級への帰属感を高められる 				
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・トーンチャイム（クラスの数分）、ワークシート ・音楽室など広く、自由に歩ける場所 				
学 習・活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 <ul style="list-style-type: none"> ・一本ずつトーンチャイムを持ち、輪になって一回ずつ順番に鳴らし、響き合いを聴く ・ワークシートに心の色をかく（中・高学年） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トーンチャイムの響きを友だちと重ねてもっと美しい音色にしよう</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・絶対にしゃべらないことを約束する 		トーンチャイム各自1本 ワークシート	
2 主活動 ○ 様々なバリエーションで響き合いを楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ・2回ずつ鳴らす ・次の人が入るタイミングは自由 ・残響を聴きながら次の人が入ってよいタイミングを自分が目の合図で教える ・並び順をシャッフルするなど ○ 輪を崩し、しゃべらないで自由に出会った人とトーンチャイムで会話し、響き合いを楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ・最後は1回同時にならすことを握手のかわりとする 		<ul style="list-style-type: none"> ・活動に入る前に、担任と何人かの児童でやってみせる ・一人ひとりの音の美しさだけでなく、全員が真剣に音の重なり合いを聴き取るよさ、時間を共有しているすばらしさに気が付くよう言葉かけをする ・いろいろな友達とトーンチャイムで会話するように声かけをする 			
3 ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・今日の活動を通して、気がついたこと、感じたことなどをワークシートに書く 		<ul style="list-style-type: none"> ・非言語によるコミュニケーションを感じとれたことをフィードバックする 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して扱える楽器なので、児童への負担が少ない ・扱い方には友だちにぶつかったりすることのないように事前指導が必要 ・クラス集団がしっかりとルールを守れる状態であることが必要 				

中高学年はワークシートA、低学年はB



年 組 名 前 ()

わたしがえらんだ音は です。

この音は

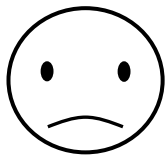
だから好きです。

1. この授業は、楽しかったですか。
じゅぎょう たの

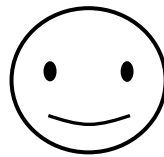
たの 楽しくなかった たの あまり楽しくなかった たの まあまあ 楽しかった たの とても楽しかった



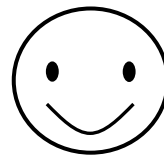
()



()



()



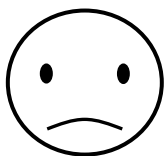
()

2. ともだちと気持ちよく音を重ねることができましたか。
きも

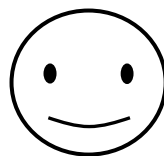
できなかった あまりできなかった まあまあ できた よくできた



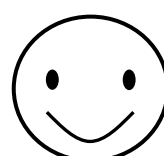
()



()



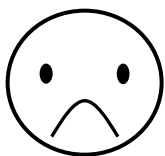
()



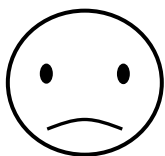
()

3. ともだちと音ではなしができましたか。

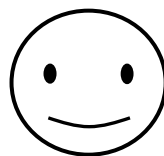
できなかった あまりできなかった まあまあ できた よくできた



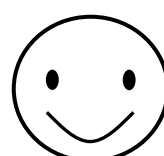
()



()



()



()